

2024年度 社会福祉法人つぼみ会 LIFE SCHOOL 阿見 保育自己評価表

【ねらい】

保育所の役割や社会的責任を遂行するために、法令等を遵守し、保育所を取り巻く社会情勢などを踏まえ、その専門性の向上に努め、保育所の望ましい管理運営するため、今年度の本書の保育、教育全般等を総合的に評価し、次年度の保育計画に生かすための本表を活用する。

1. 保育理念・目標・計画・評価

	内容	反省・評価
1	保育士一人ひとりが園の方針を理解している	「一人ひとりの子どもを大切にする」「子どもの主体性」という保育理念・目標について職員一人ひとりが向き合い考えながらクラス運営を行うことができた。特に低年齢児における、年齢発達に応じた関わりや、生活のデイリーなどは柔軟に変更しながら保育にあたることができた。 幼児クラスの学習面では、さらに深めていくことができるので、次年度以降の課題としながら、より子どもたちが色々な事象において探究できるようにしていきたい。
2	保育方針や目標に基づいて、クラスの年間計画を立てている	
3	子ども一人ひとりの主体性を大切に保育をしている	
4	各年齢の発達段階を理解し、それぞれの年齢に合った指導計画であり、個々の発達にも留意したものを作成している	
5	保育者は自らの保育実践を振り返り評価し、専門性の向上や改善に努めている	

2. 保育の内容

	内容	反省・評価
1	子どもの発達過程やその連続性を踏まえ、保育や生活の中で「ねらい」や「内容」が達成されるよう、必要な事項に配慮し、保育を行っている	乳児クラス、幼児クラス問わず、子どもの「今」と向き合い保育計画に落とし込むことを大切にされた。年齢によっては、大人との精神的なつながりが大切な子、応答的な関わりを必要とする子、あるいは大人や友だちなどの第三者と一緒に何かを作り上げることを楽しんでいる子、一人ひとりのやりたいことや欲求を叶えられるように保育を組み立てていった。 また、保育環境についても、子どもが自分の遊びや課題に集中できるよう、年齢に応じてコーナーの作り方を変え、年齢発達に合わせた形でのコーナー設定を意識した。自分の課題に向き合いながら、主体的に自分の発達や興味関心に合わせた活動ができるようにしている。 園庭をはじめ、自然が多い環境にあるので、遊びの豊かさや衛生のバランスをとった上で、今以上に子どもたちが快適に安全に生活できる場を目指していく。
2	一人ひとりの思いを受け止め、その思いをできるだけ実現しようと努めている	
3	子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築いている	
4	子ども達が日々過ごすための安全な環境や適切な衛生状態に努めている	
5	身体的、精神的、情緒的発達や家庭環境及び食事習慣など、総合的に多面的に子どもの状態を把握している	
6	保育室の整理整頓に努め、いつも気持ちの良い保育室作りを心がけている	
7	行事の計画や実施にあたっては、以前の反省や評価を反映している	
8	職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで保育を行っている	

3. 保育所の組織・役割分担

	内容	反省・評価
1	豊かな集団育成を目指したクラス経営が進められ、各クラスの連携が円滑に行われている	個人の生活だけではなく、集団生活を通して集団での立ち振る舞いを知ることや多様な人間関係の中で生活することを大切にしている。また、保育を見守る大人同士もコミュニケーションを密に取りながら、子どもを中心とした保育を展開していった。 外部講師、他園や本部の助言を受けながら保育の質の向上を図り、職員間での連携を密にすることで、保育の面だけではなく災害時や不測の事態にも円滑にあたることができた。 今後も園内での研修や外部での研修などを通して、全体の連携と保育の質の向上に努めていきたい。
2	研修への参加や専門書により知識や技能の向上に取り組んでいる	
3	研修で得た内容・成果は他の職員に伝達され、保育に活かされている	
4	職員間で報告・連絡・相談の体制が機能している	
5	保育を良くしたり、業務の効率化を図ったりするような提案が出されている	
6	各職員が任せられている仕事は責任感を持ってこなしている	
7	各職員が職員会議等で、必要と思う質問や意見を発現することができている	
8	火災・地震・不審者進入等の危機管理に努めている	

4. 家庭・地域社会・情報

	内容	反省・評価
1	保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心がけている	保護者対応については、各職員一定水準で対応することができている。 送迎時や、連絡帳、園内での掲示物を通して、保育園での活動の様子や、個人の課題、子どもの姿を共有し連携をとることを心がけている。 地域との交流は距離や立地の面からそこまで多く行っていないが、少しずつ地域交流の機会を増やし地域に根ざした保育園運営を進めていきたい。
2	送迎時に子どもの姿を保護者に伝えている	
3	保護者の子どもの伸びているところや課題を伝える等、連携をとっている	
4	園だより、クラスだより、保健だより、給食だより、掲示板、ブログ等を通して、保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	
5	地域や保護者の意見を保育や運営に反映している	

5. 事務管理・運用

	内容	反省・評価
1	個人記録簿は、適切に記載し、整理管理できている	個人情報保護、守秘義務、金銭管理については、適切に行われている。
2	園内で知りえた事柄に対して守秘義務は徹底できている	
3	金銭などを取り扱う場合、適正かつ適切に処理できている	